

年末年始の「ごみ収集」と「し尿くみ取り」

期 日	ごみ収集	し尿くみ取り	個人での直接持ち込み	
			燃やす・可燃性粗大ごみ 東部清掃工場 ☎096(293)5245	資源物・不燃・埋立・不燃性粗大ごみ 環境美化センター ☎096(293)1222
23日(水)~25(金)	平常どおり	平常どおり	8:30~17:00 平常どおり	
26日(土)	休 み	要予約(※④)	8:30~17:00 年末特別開放日	
27日(日)	休 み	休 み	8:30~17:00 年末特別開放日	
28日(月)	平常どおり	要予約(※④)	8:30~17:00 平常どおり	
29日(火)	平常どおり	休 み	8:30~17:00 年末特別開放日	
30日(水)	休 み	休 み	8:30~17:00 年末特別開放日	
31日(木)	休 み	休 み	8:30~17:00 年末特別開放日	休 み
令和3年1月 1日(金)~3日(日)	休 み	休 み	休 み	
4日(月)~6日(水)	平常どおり	平常どおり	8:30~17:00 平常どおり	

- ※注意事項
- ①ごみ収集が休みの期間は、絶対にごみを出さないください。
 - ②特別開放日は、正午から午後1時の間も持ち込み可能です。
 - ③個人で東部清掃工場や環境美化センターに持ち込む場合は、時間に余裕を持ってお願いします。また、搬入量に応じて処分手数料が必要な場合もあります(ごみカレンダーの最終ページもご参照ください)。
 - ④年末に「し尿くみ取り」を依頼する場合は、12月25日(金)午後5時までに、(有)日野環境☎096(293)2156に連絡ください。
 - ⑤ごみ搬入車両は4トン車以下に限ります。

おおづのしごと VOL.15

大阪町企業連絡協議会

館金属工業 株式会社

ひとつから量産まで、
ご希望にぴったりの物を作ります




工場外観 溶接作業

館金属工業株式会社は1971年に創業しました。三重県鈴鹿市に本社と工場が2拠点あります。

熊本工場と本社では部品など搬送用の台車づくりを軸に、工場内機械カバーや、地震対策等安全用品の製作や設置も行っています。製品の大きさ、形状にぴったり合う専用容器や台車を提供しています。お客様のニーズに対応するとともに、技術ノウハウを加味した提案型のものづくりを特色としています。

鈴鹿の1拠点では自動洗浄機を置き、長期保管される製品や錆やすい製品を洗浄し、大切に保管する倉庫業務も行っています。

時代の流れを捉え、社会に貢献できる技術力・創造力のある企業として、少しでも皆さんのお役に立てるよう、努力をしていきます。



●所在地 菊池郡大津町杉水3328番地1

●業 種 輸送用機械器具製造業

●従業員数 39人(熊本工場 10人)

●事業内容 ・台車
・パレット
・機械カバー等製作施工

●連絡先 ☎096(293)1499

●ホームページ <http://tachikin.com/>

館金属工業 株式会社
検索



連載「人権シリーズ」

●問い合わせ
役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)7920



人権啓発センター

11月7日に町人権啓発福祉センターで、開館40周年記念式典を開催しました。開会セレモニーとして、昨年発生した差別落書き事象に対する思いを作曲・作曲した「あじさいの花が咲く頃に」の歌を職員が披露しました。

■町人権啓発福祉センター(隣保館)開館40周年記念式典を開催

11月7日に町人権啓発福祉センターで、開館40周年記念式典を開催しました。開会セレモニーとして、昨年発生した差別落書き事象に対する思いを作曲・作曲した「あじさいの花が咲く頃に」の歌を職員が披露しました。

■町人権啓発福祉センターの活動について紹介します

隣保館は、人権啓発・地域福祉・住民交流の拠点施設として各種事業を行う

そして、家人町長の主催者挨拶、桐原町議会議員長、中田重男解放同盟大津支部長の来賓祝辞の後、記念講演として、国立療養所菊池池恵楓園園長の箕田誠司さんから「ハンセン病の歴史に学ぶ」の講話がありました。

ハンセン病の歴史を踏まえ、無関心と偏見から差別が生まれるという点は、新型コロナウイルス感染症と重なる、人権は終わりのない学び舎であると話されました。



五年四月

国立療養所菊池池恵楓園園長の箕田誠司さんがハンセン病について話してくださいました



主催者挨拶をする家人町長



解放同盟大津支部長の中田重男さん

いながら、人権意識の向上や地域活動の推進に取り組んでいます。

今年度は、検温チェックや消毒などの万全な感染症対策を講じながら、従来通りの地域福祉事業の心配ごと相談や高齢者一人世帯訪問、南杉水地域の高齢者が参加するふれあいレクリエーションや町内小中学校の児童・生徒、教職員などの現地で学ぶ人権学習会を



職員が「あじさいの花が咲く頃に」を披露しました

開催しています。

そのほかにも、ピラティス、フラダンス、木彫りなどの趣味サークルの活動の場としても利用されています。

これからも部落差別をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向けた活動を進めるとともに、地域に開かれたコミュニティセンターとして、町民の皆さんが気軽に利用できるような啓発と交流の場となるよう、活動の充実に努めていきます。